

第1回洞爺湖芸術館あり方検討委員会 会議録（概要版）

令和6年5月22日

第1回 洞爺湖芸術館あり方検討委員会					
開催年月日	令和6年5月22日				
場 所	洞爺総合センター 2階 大会議室				
開会閉会の 日 時	開 会	令和6年5月22日 午後4時00分			
	閉 会	令和5年5月22日 午後5時00分			
委 員 出席 9 名 欠席 1 名	委 員 長	木村 省平	社会教育委員 委員長		出・欠
	副 委 員 長	加藤 亮子	洞爺湖芸術館友の会 会長		出・欠
	委 員	五十嵐 優子	地域住民		出・欠
	〃	新井 知子	洞爺湖芸術館友の会 副会長		出・欠
	〃	星川 志津子	NPO 法人 洞爺まちづくり観光協会		出・欠
	オブザーバー	久米 淳之	北海道立近代美術館 上席専門員		出・欠
	教育長	渋谷 賢一			出・欠
	課 長	角田 隆志			出・欠
	係 長	黒澤 博美			出・欠
	主 事	小八木 香菜子			出・欠
会議次第	1. 開会 (1) 委嘱状交付 (2) 挨拶 (3) 委員紹介・事務局紹介 (4) 委員長・副委員長の選出 2. 趣旨説明 1. 洞爺湖芸術館あり方検討委員会設置要綱について 2. 洞爺湖芸術館について 3. 議案 議案第1号 洞爺湖芸術館あり方検討委員会開催計画について 4. その他 5. 閉会				
	1. 開会 (1) 委嘱状交付 (委嘱状交付) (2) 挨拶 (教育長挨拶) (3) 委員紹介・事務局紹介 (出席者挨拶) (4) 委員長・副委員長の選出 事務局案として委員長に木村省平委員、副委員長に加藤亮子委員を提案。 (異議なし) 2. 趣旨説明 1. 洞爺湖芸術館あり方検討委員会設置要綱について (事務局より資料に沿って説明)				

A委員	【意見・質問】 「審議が終了」については、どれぐらいを目処としているのか。
事務局	今年度内を予定している。ただし、審議の内容や進捗によって期間が延びる可能性があることもご承知おき願いたい。 2. 洞爺湖芸術館について (事務局より資料に沿って説明)
B委員	【意見・質問】 芸術館運営収支の決算額は。
事務局	次回の委員会でご提示する。
C委員	町民の施設利用者が少ない。町民の方たちにどのように足を運んでいただくのかという点が課題のひとつかと思う。
B委員	町民を芸術館へ誘導するきっかけづくりは大切かと思う。特に町内の小学校との連携などで、まずは子どもが芸術に触れる機会をつくってもらえれば。 また、とうやこぐるっと彫刻についても活用し関連するような方策で、芸術館に足を運んでもらう機会が作れればと思う。
D委員	他館で、来館者が少ないという指摘をきっかけに、ショップ商品の充実や、ワークショップや読み聞かせ、コンサートなどイベントを絶え間なく実施した例がある。 結果的に、来館者の増加だけではなく、地元のお菓子などの商品販売やイベント実施の協力を通して、地域とのつながりが深くなる効果があった。 労力を考慮しつつも、イベントを増やす方法も考えてみてはどうか。その際、地域など周囲と協力して実施することができればよいと思う。
B委員	洞爺地区には多くお店があるので繋がりをつくっていければよいかと思う。
C委員	昨年の入館者減については、学芸員が不在で事業が縮小した影響もあるかと思うので仕方ないと思う。 今までの事業を踏まえつつ、今後夏休みにイベントを行うなどして町外の子どもが来館するようなきっかけづくりをしていければ。 作家と接するワークショップなどのイベントは、子どもにとって温かい思い出になる。特に大人は美術に敷居の高さを感じてしまうこともあるが、日常や身近な題材を子どもたちが楽しむことを通して、芸術館への親近感が広がればと思う。
B委員	来館者増加という結果がすぐに出なくても、短期間で無理をせず、長い目で企画を続けることが大切かと思う。 3. 議案 議案第1号 洞爺湖芸術館あり方検討委員会開催計画について (事務局より資料に沿って説明) 【意見・質問】 なし

	4. その他 なし 5. 閉会
--	-----------------------